

あまぬま

育成委員会だより

令和6年
(2024)
3月10日
第87号

天沼青少年育成委員会
発行責任者
五十嵐 恵子
印刷：タイヨー美術印刷株式会社



丁寧にヤスリをかけて



My 箸づくり教室

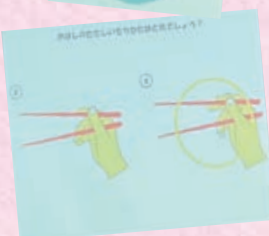
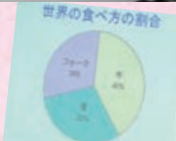
令和5年8月26日(土) 午前10時から消費者センター第1・2教室にて「My 箸づくり教室」を行いました。例年は11～1月でしたが、今年は天沼地区の集会所が10月から工事などのため、夏休み期間に実施しました。

講師は箸専門メーカー(株)兵左衛門の時田さん。箸の歴史や作法・マナー、世界で箸を使う割合は箸30%・フォーク30%・手で食べる40%という結果に驚いたり、どのお話も興味深かったです。

そしていよいよオリジナル My 箸づくり。一人ひとりの手に合わせて長さを調整したら、模様や色つけ作業をします。

今回使われているのは、折れたバットを回収して箸に再加工したもので、他にもプロ野球選手の折れたバットが「かっとばし!!」という箸に生まれ変わっています。環境にも優しい取り組みに貢献しながら、自分だけの箸を作れました。

仕上げは職人さんが上薬を何度も塗り重ねて、ようやく完成になります。手元に届くのが楽しみです！ (梅津 亜由未)



楽しく模様描き



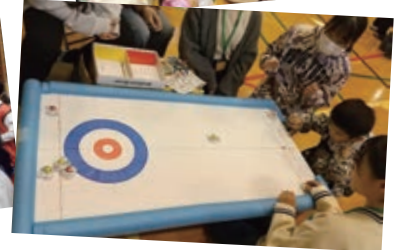
たのしさバクハツ!天沼まつり

11月18日(土)に旧若杉小学校体育館で、4年ぶりに天沼小学校地域子育てネットワーク事業として「たのしさバクハツ!天沼まつり」を実施しました。

今までの形態を見直し「子どもをまんなか」の考えのもと、子どもたちからおまつりの愛称募集・投票を行い「たのしさバクハツ!天沼まつり」に決定しました。関係団体の皆様には、ポスター掲示や配布にご協力いただき、ありがとうございました。今回電子媒体を利用したことで、より広く周知することができ反響も大きくありました。

当日は、各児童館から子どもたちによるゲームのお店が12店舗・天沼中学校ボランティアから1店舗の計13店舗。天沼小学校PTAや天沼小学校震災救援所運営連絡会などの関係団体によるお店が7店舗とたくさんの楽しいお店が出店しました。また、ステージでは、天沼中学校有志と各児童館からダンスの発表があり、おまつりのスタートを盛り上げてくれました。参加者は883名にものぼり、体育館内は大変な賑わいを見せていました。スタッフも参加したお客さんも「とても楽しかった!」と大好評でした。

今後も地域の皆様のご協力をいただきながら、天沼地域のおまつりとして「楽しい気持ちがバクハツする!」イベントになるように継続して活動していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。
(上荻児童館館長 清水 弘美)



すぎクラブ秋祭り



11月25日(土)「すぎクラブ秋祭り」を開催しました。

コロナ禍が明け、本年度から杉九小の児童だけでなく、地域の乳幼児親子や中高生も参加できるイベントとなり、地域に開かれたお祭りとなりました。子どもスタッフによる子どもたち手作りのゲームや工作ブース、地域の方のご協力によるポップコーン、お話し会、コマ遊び、バルーンアート、ゲームコーナーなどのブース、その他にもシャボン玉、トランポリン、ダンボール迷路といった全22ブースが体育館と学童クラブ室に並びました。1時間という時間の中、友達と目当てのブースを体験できて喜ぶ姿や、親子でゆっくりと楽しむ姿などが見られ、参加者の笑顔があふれるお祭りとなりました。

地域の皆様と一緒に、このようなたくさんの子どもの笑顔をつくることのできたことは、私たちにとっても大きな喜びです。これからも、すぎクラブが地域に根ざしていける場所となるよう、活動していきたいと思っております。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただきました皆様に改めて感謝いたします。

(杉九小放課後等居場所事業 すぎクラブ 加藤 崇)



天沼小 防犯防災教室

令和5年9月30日(土)午後、天沼小学校アリーナにて、NPO 法人体験型安全教室支援機構による防犯防災教室がPTA主催で行われました。

前半は、あやしい場所の4つの特徴の合言葉「ひまわり」・あやしい人の5つの特徴の合言葉「はちみつじまん」について考え、「走る」「腕ぶんぶん」「ジタバタ」「かみつく」などの安全確保の基本的な動作を親子で体験。

後半は、地震が起きた時、揺れ始めの8秒でウサギ(低い姿勢で物が落ちてこない逃げる場所を探す)→ネズミ(体を低くして安全な場所に潜り込む)→カメ(安全な場所で体を小さく丸めて首の後ろを守る)のポーズで身を守ることを学び、実際に暗い場所で体を低くして障害物をよけて歩く体験をしました。あらゆる危機に立ち向かえるよう、安全基礎体力(自分で考え判断し行動する力)を育ててほしいと思います。



すぎく防災教室2024

令和6年2月17日(土)午前、杉九小学校において、児童保護者ともに防災減災を考えるきっかけを作り、「開かれた学校、地域に根差した学校」を目指し関わりの場を創る目的で、PTA主催「すぎく防災教室」が開催されました。

防災標語コンテストの表彰があり、消防署からのお話「知ろう! 日常に潜む危険」のDVD視聴の後、3つのグループに分かれて、けむり・消火器・AED等の体験コーナーを回りました。防災食の試食をして、参加賞は「スマートエマージェンシーボトル」。このボトルの箱に「ハザードマップポータルサイト~身のまわりの災害リスクを調べる~」のQRコードもあったので、ぜひご覧いただき、ご家族で防災減災について考え、備えをしていただきたいと思います。

令和6年能登半島地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

委員研修 ヤングケアラーに必要な支援について

令和5年11月21日(火)、ウェルファーム杉並にて、東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課の土屋佳子さん(社会教育主事、社会福祉士)にお話をいただきました。

ヤングケアラーとは法令上の定義はありませんが、年齢や成長の度合いに見合わない重い責任や負担を負って、本来大人が担うような家族の介護や世話をすることで、自らの育ちや教育に影響を及ぼしている18歳未満の子どものことをいい、18歳からおおむね30歳くらいのケアラーを若者ケアラーといいます。

ケアが必要な人は、主に障がいや病気のある親や高齢の祖父母、きょうだいや他の親族の場合があり、ケアラーが行っていることは薬を飲ませる、着替えや移動の介助、入浴やトイレの介助、情緒面のサポート、家事やきょうだいの世話、請求書の支払いや病院への付き添い、家族のための通訳、家計を支えるためのアルバイト等、多岐にわたるそうです。

令和2年度にヤングケアラーの実態調査を実施。小・中・高校生は「きょうだいを世話している」が最も多く、大学生

は「母親を世話している」で母親の状況は精神疾患でした。世話のためにやりたいけれどできていないことについては半分以上が「特にない」と回答。世話をすることがあたりまえ、家族だからしょうがないと思っているようです。

困難を抱えていることを知るの難しいですが、「子どもの話を、子どもを主役として聞いてくれる大人がいる」環境を作り、子どもの状況に早めに気づいて、支援につなげることができる「地域住民によるゆるやかな見守り」が大切だと仰げました。

(山根 恵津子)

土屋佳子さん



30代でカウンセラーの勉強を始め、20年前に中学校の教育相談・カウンセラーになり、その後大学院でスクールソーシャルワーカーの講師を経て令和4年東京都に入庁。現在は都立高校の支援をしています。



「コロナ禍の日常」からの脱却



杉並区立東原中学校
校長 岩本 真由美

今年度、杉並区立東原中学校に着任いたしました岩本真由美と申します。育成委員の皆様には、日頃より大変お世話になっております。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、学校はかつての日常をとりもどしつつあります。しかし、コミュニケーション能力や人間関係の希薄化という「後遺症」を感じます。

また、SNSはコミュニケーションツールとしては大変便利です。しかし、LINEのように短い文章でのやりとりでは意図が通じにくいことや、X(旧ツイッター)等のつぶや

きによる誹謗中傷で心を病むことも多くなってきています。笑顔を通して人間関係が広がるという経験を重ね、表情を通して他者の気持ちを察することができるように生徒の成長を促していきたいと強く思っています。

そして「言葉の力」を身に付けさせたいと考えています。最近では、AIが人間の能力を超えたのではないとも言われていますが、AIは文章の意味を読み取ることが苦手で、人間の「読解力」には劣るといわれています。人間の能力である読解力を磨くには、やはり文章を読み書きする機会を多くもつことが一番大切です。

今後も育成委員の皆様、地域の皆様のお力をいただきながら、生徒の成長を見守っていただけますと幸いです。これからも、ご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

3年にわたる「コロナ禍の日常」からの脱却には、同じくらいの時間が必要になる覚悟で邁進してまいります。

有害環境改善パトロール

令和5年9月14日(木)、午後6時より荻窪駅周辺のパトロールを荻窪警察の方と一緒にしました。

まず喫煙所が設置されているコンビニ2か所の視察。どちらも店内奥のほうにありました。雑誌類全てには、購入後に綺麗に剥がすことのできるテープが貼られていて、中を開けられない様になっていました。

ゲームセンターとカラオケには年齢別に入店の制限がありました。同行してくださった警察の方が中学生くらいの子に声をかけていました。中学生までは午後6時に退店しなくてはならないそうです。その一方で、保護者同伴の場合は許されるらしく、保育園帰りらしい小さい子たちがゲームをしていたのが気になりました。

パトロールに参加した小中学生の保護者からは、コンビニのイトインコーナーやゲームセンター、カラオケ等、住んでいても利用する機会が多くない場所なので、現状を知ることができて勉強になりましたと感想がありました。(峯岸 香世子)



令和5年度 行事報告

新旧常任委員会	4月27日
定期総会	5月25日
野球大会監督会議	6月8日
とうもろこし収穫体験	7月9日
常任委員会	7月13日
少年野球大会	7月29日
すぎくラブ夏のイベント	//
My 箸づくり教室	8月26日
有害環境改善パトロール	9月14日
天沼小防犯防災教室	9月30日
広報「あまめま」第86号発行	10月15日
たのしさバクハツ!天沼まつり	11月18日
委員研修(講演会)	11月21日
すぎくラブ秋祭り	11月25日
大根収穫体験	不作の為中止
常任委員会	12月14日
すぎく防災教室	2月17日
広報「あまめま」第87号発行	3月10日
常任委員会	3月14日
ボウリング教室	3月26日

令和5年度 青少年善行表彰

天沼地域少年野球大会において会場設営等を行った日大二中野球部と、育成の行事にボランティアで参加した東原中学校の生徒さんが、地域社会において善い行いをした青少年として、杉並区と杉並区教育委員会から表彰されました。

卒業・進級おめでとう

3月26日(火)

第16回

小中学生のための

ボウリング教室
開催!

新任委員

常任委員 青少年委員 河野知恵子
よろしく申し上げます。

退任委員

常任委員 青少年委員 前田小百合
(11月1日付で教育委員に任命)

当育成委員会のホームページがあります。こちらからご覧ください。 ➡

編集担当: 佐藤・齊藤・広瀬・成田

